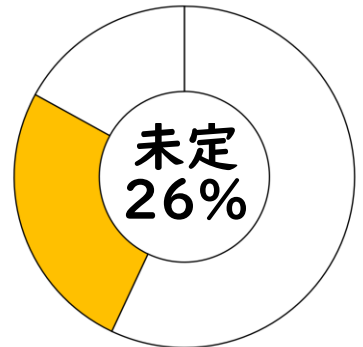
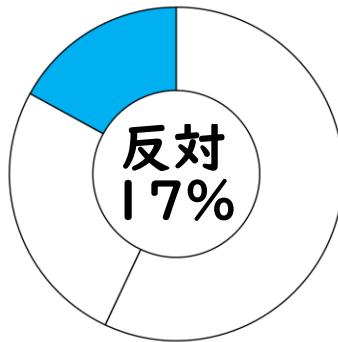
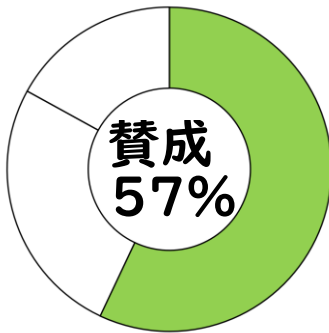


「制服の見直し」に関するアンケートまとめ

Q：制服の見直しを行いたいと考えています。



【「賛成」と考えた理由】

- ・時代の変化へ対応するため
- ・多様性が求められる時代であるのにも関わらず、現状維持（男子は学ラン、女子はセーラー服にスカート）は現代に不釣り合いのように感じます。
- ・いまどき
- ・時代の流れを考えてもブレザータイプに変更することは良いと思います。
- ・時代の変化の対応で、いいと思う
- ・着心地が良さそう。
- ・上の子のときに制服の生地が三年生になると背中やスカートのお尻の部分などが擦れてテカテカすると感じていたから。修学旅行前に追加で購入した経験があるから
- ・気温によって調節できる
- ・今の気候を考えるともっと寒暖対応がしやすい形にするほうがいいのではないかと思ったから。
- ・機能性が欲しい

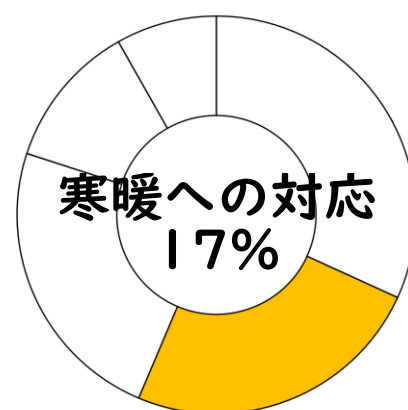
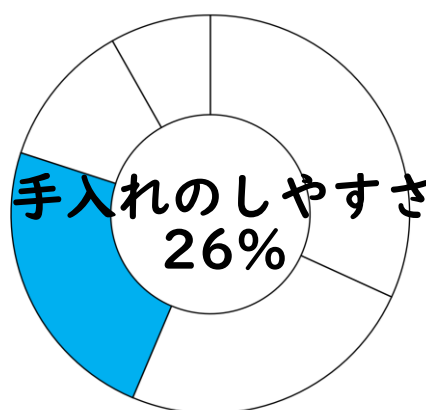
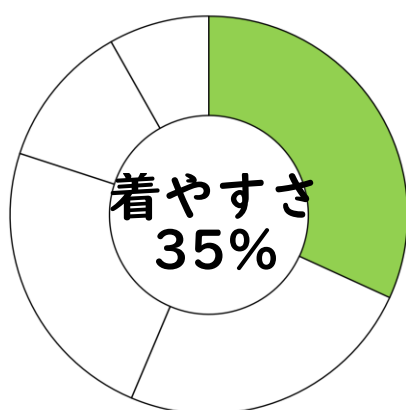
【「反対」と考えた理由】

- ・朝日中のセーラー服が可愛いから。お下がりが使えなくなるから。
- ・小学生は、制服への憧れもあるのではと思ったから。
- ・変える理由がわからない。高価になると思っている
- ・ブレザーの方が、費用がかかりそうだから

【「今の段階ではどちらともいえない（未定）」と考えた理由】

- ・制服について考えたことがない
- ・セーラー服がなくなりつつあるのであえてブレザーにしなくても良いと思う。変えるならばナンバーズクールに似たものではなくて個性的な制服にして欲しい。
- ・今までのままでも不便を感じたことがなく、学ランやセーラー服がとても素敵だと思うから
- ・子供の考えを尊重したいが、まだ下学年（1年生）の為
- ・お下がりを考えていた為。

Q：制服に求める機能で一番大切なもの



【着やすさ（着心地）を選んだ理由】 … 35%

- ・毎日着用するものなので、本人の着心地が大事だと思う。
- ・毎日着て様々な活動をしていくものなので。
- ・毎日着る物なので。快適に過ごしてもらいたい。
- ・毎日着用するものなので、着やすさが良いのが一番と考えました。
- ・何年も着る物だから大事にしてもらいたいから
- ・学習に影響がないよう①着心地②寒暖への対応を重視してほしい。

【手入れのしやすさ（家で洗濯ができる）を選んだ理由】 … 26%

- ・汗をかいたら手軽に洗濯したい
- ・汚れるので。
- ・クリーニングが大変。臭いが気になる。
- ・自分が中学の時、汚してもすぐには洗えず、クリーニングに出せずに困った記憶がある。
- ・汗かきなので、手入れしやすい方が良い。

【寒暖への対応を選んだ理由】 … 17%

- ・ワイシャツ着用の時期でも寒い時期はカーディガン着用可にするなど。
- ・スカート寒そう

【価格を選んだ理由】 … 13%

- ・物価高
- ・制服は高いイメージがあるから。
- ・入学の時に一式揃えとなるとかなりの金額が必要ですし成長すると買い替えとかもあるのであえて金額にしました。

【選択肢がある（例：ボトムスが選べる）を選んだ理由】 … 9%

- ・女の子はスカートという概念はもう古いので、ボトムスは選べる方がいいと思います。
- ・ジェンダーレス、個性性が重要視される時代ですので、何事も「選べる」ことは人間の尊厳に値すると考えます。

Q：制服の見直しに取り組む過程で「大切にしてほしい」ということ

・コロナのときに毎日同じ制服は不衛生だと感じました。入学式、始業式などは制服で、他はシャツにカーディガン対応でもいいのではないのでしょうか。色だけ指定だとありがたいです。

- ・値段
- ・価格帯が家計を圧迫しないようものでお願いしたいです。
- ・着用する生徒達が快適で居られること。
- ・費用や機能性、管理のしやすさ
- ・生徒が着心地が良い制服で快適に学校生活を送れる事。
- ・学習面での影響がないこと。
- ・学校の 1 生徒として着方のマナーを守って行動していけたらよい
- ・尊厳、個性、選択。以上を挙げると個人的に私服でもいいかと思えます。
- ・子ども達の思い。
- ・子供たちの意見
- ・着用する生徒が、着たいと思えるデザインである事（色合いなど）
- ・個性。似たりよったりの制服で無い事
- ・朝日らしさ

Q：制服の見直しに関するご意見・ご質問など

・私は 4 中出身ですが、1 中と制服は同じものでした。鶴岡市立中学校であれば制服は同じものとし、ネクタイなどで学校の区別をするのもありかと思えます。購入店舗も対応してくれるお店は多い方がありがたいです。（賛成）

⇒「市立中学校で制服をそろえる」というアイディアは正直言ってありませんでした。どうもありがとうございます。令和 7 年度から制服が変わる中学校もあるので、後から変更する学校が、先に制服を変えた学校に揃えていく、というイメージでの実施は可能かと思えます。ただ、今思い浮かぶ問題として、公立学校が、ある一社の制服に揃えていくことに課題はないのか、ということと、制服をそろえる方向に向かわず、独自の制服を志向する学校も出てくることも考えられます。でも、少なくとも朝日中では、先に制服を変えた学校の情報を収集・共有し、ご意見を伺っていきたいと思います。

・制服を見直すという視点が嬉しいです。（元、朝日中生です。）いままでの伝統を大事にする一方で、新たな考えを取り入れようとする姿勢は前向きで明るいです。様々な家庭、考えがあるとは思いますが。

生徒の中には着崩すことで個性を生むという考えが一定数いるということがあるようですね（アンケート結果より）。自分の若い頃もそうでしたが、まだ若く自分の考えを主張する力の少ない中学生が、その個性を、人間性を、「着方（着崩し方）」で訴える人間も少なからずいるということだと思います。よって多様性、選択肢というものは大事にしていきたい視点だと思います。（賛成）

・今の制服が着にくい物だったとしても、制服だと思えばそう言う物だと思って着ると思います。最近では中学校も高校もブレザーの制服が多く感じます。着やすさなのかもしれませんが…あえて中学校の時は学ランとセーラー服でもいいのでは？個人的には『学生を感じる』ってところで、学ランとセーラー服が捨てがたい！

しかしながら、制服の見直しを検討した事はとても意義のある事であり、素晴らしい事だと思います！（未定）

⇒おっしゃるように、個性、人間性を「着方（着崩し方）」で訴えている、と思われる生徒もいると思いますが、一方で、着崩さずにはいられない生徒もいると思っています。これは、誤解を恐れずに例えれば、明かりをつけておかないと眠れない、とか、狭い空間に長時間いることができない、等と同じように、

学生服は首周りが締め付けられていることで、同様の状況になってしまう、ということです。もしそういうお子さんがいるとすれば、「学習に集中できるように」というご意見があったように、ある意味多様性の観点からも、そのことで嫌な思いをしなくてもいいように、そうしたお子さんのよさが発揮されやすい状況を考えていきたいと思い、制服の見直しに取り組んでいます。

・積極的に進めて頂きたいです。（賛成）

・実際の見本品を拝見しました。リボンですが、見本品のようなフックでつけるタイプではなく、アジャスター付きのゴム紐タイプがいいのかなと感じました。シャツはノーアイロンで OK タイプでお願いしたいです。（賛成）

⇒リボンのタイプについては、実際に「制服の見直し」を進めることが決まってから、生徒や保護者の皆様とご相談させていただきたいと考えています。

・夏は体操着を着て登校するのですか？（反対）

⇒本来、夏場の制服としては「Y シャツ＋学生ズボン／スカート」と規定されています。しかし、昨今の熱中症予防の観点から、運動着（半袖Tシャツ＋ハーフパンツ）での登校を推奨しています。

令和 6 年度は、6 月 1 日から夏服に衣替えしましたが、特に登下校時の気温及び暑さ指数（WBGT）の数値を踏まえ、6 月 13 日から 10 月 11 日まで運動着登校を認めています。

・夏涼しく、冬暖かい素材で今まで通りの制服を作ればそれで良い（反対）

⇒この度展示したサンプルを提供していただいた業者に確認したところ、ご意見いただいたような素材で今まで通りの制服を作るのは可能ですが、「今の制服よりも割高になる」、との回答でした。

・義務教育であるのに、制服にお金がかかるのは困る。（未定）

・正直、ナンバースクールに似たブレザーならばわざわざブレザーにしなくても良いと思います。（男女共）（未定）

⇒「制服の見直し」についてのコンセプトは、実際に着用する生徒が安心かつ快適に学校生活を送ることができるようにする、ですが、もちろん経済的な負担軽減と両立できるものを考えたいと思います。よって、金額としては現在の制服と同程度または安価なものを前提として考えていきたいと思います（なお、この度展示したサンプルでも今の制服と同程度の値段ですし、素材を見直すとさらに安価になります）。

また、上記のご意見に加え、おさがりをご希望の方もいらっしゃることは承知しています。現段階では、制服の見直しをしたと仮定して、新規に購入される場合は新しい制服を購入していただき、現在の制服をおさがりで着せたい、という場合にはそれも認める方向で考えています。

○今回、「制服の見直し」に関するご意見の他、生徒の放課後の過ごし方や部活動等の選択肢に関するご意見をいただきました。どうもありがとうございました。

いただいたご意見に関する状況を確認した上で必要な指導を行ってまいりたいと思います。

また、活動の選択肢に関しては、生徒数及び教職員数の減少によりとても厳しい状況です。ただし、その状況は本校だけでなく田川地区のどの学校にも見られる状況と言えます。

部活動についてはおっしゃる通り、選択肢は限られておりますが、現在は、学校に届いた様々なイベント等の案内を生徒の皆さんにお知らせし、積極的な参加を呼び掛けています。今後も可能な手立てを検討するとともに引き続き情報提供を行ってまいります。